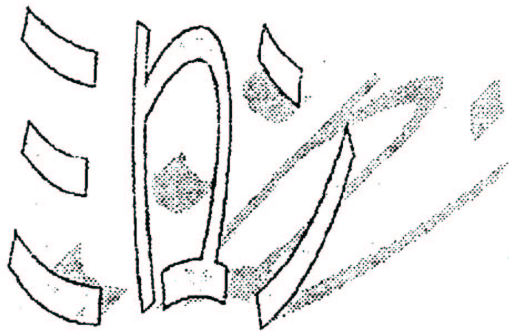
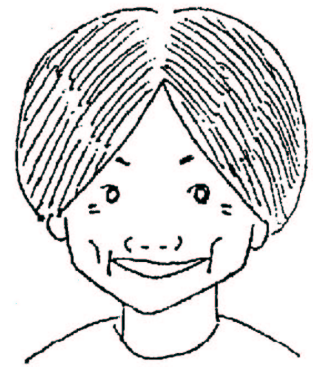


1996. 11. 5 No. 61



バンクラテシュと
手をつなぐ会



世界中みんなともだち

10月12日の報告会はとてもよかったですね。

カシエムさん、シャクティラニさんの研修もきつと有意義で楽しい交わりの日々だったと思います。

わたしはシアトルに来て一ヶ月になります。ここは白人、黒人、アジア人などが一緒に暮らしているところ。

自然の美しさも人々の心のつながりもバンクラテシュがラムディ村と同じです。どの国でもそれぞれな悩みや楽しい問題とかかえながら一生けんめい生きています。世界中の人々がみんな友達として楽しく平和に生きようね、と心から祈る気持ちです。



☆バングラデシュ帰国報告会たくさんの人が集まりました☆

10月12日(土)曇り空の中、1996年バングラデシュ帰国報告会を福岡婦人会館あいれふで行いました。報告会の準備段階で今年は、私たちの会の事を知らないはじめての人達にも理解してもらいたい、そしてバングラデシュを身近に感じてほしいという意見があり、例年とは違う報告会を目指しました。当日の参加者数は、80名と喜ばしい結果に終わりました。

▷帰国報告会 スケジュール◁

12:00～ バングラデシュのカレーでランチ

13:00～ サリーの無料着付け教室

14:00～ ビデオ上映

医療班・教育班報告

バングラデシュから来られた2人を

囲んでディスカッション

バングラデシュのカレーは、ラフマンさんの奥さんのシャヒダさんから習ったもので、とても好評でした。サリーは、幾つかのサリーの中から好きなものを選んでもらい、バングラデシュの看護婦のシャクティラニさんやシャヒダさんが着付けを行いました。

色とりどりの素敵なサリーに参加者は興味をひきつけられ、希望者が予想以上に多く全員着ることができませんでした。しかし、1人着付ける毎に歓声があがりシャクティラニさんとの交流もできました。

現地報告の方では、医療班・教育班ともスライドを使い、はじめての人にもわかるように伝えました。今年の企画としてカレーの食事やサリーの着付けを取り入れたため、会員以外の人達が例年より来られました。「バングラデシュの事がよくわかった」と実際に意見が聞かれ、少しでも多くの人に理解してほしいという目標が1つ達成できました。しかし、課題も残りました。報告の内容はこれでいいのか、準備は十分だったのだろうか、もうすこしディスカッションを内容の濃いものにするべきだったのだろうか、ならばこの報告会の目的の焦点をどこにあてるべきなのか。

終了し、会長のカシムさんと看護婦のシャクティラニさんと報告会の場に一緒に立てた事が、ともに明日をみつめて歩いている私たちにとって、数々の事をたくさんの人で考えなおす貴重な、必要な時間だったと感じました。



(高橋 かおり)



カレーのお味いかがでしたか？

～10月12日あいいふで報告会～

10月12日、報告会のカレー試食に、たくさんの方々が足を運んでくださりありがとうございました。カレーのお味は

いかがでしたでしょうか。

事前にシャヒダさんから3Madam（井上、岩切、宇治）は、バングラデシュ肉カレーづくりをしっかりと研修し、初めてお目にかかった香辛料捜しにも奮闘して、当日を迎えました。

さて当日、助っ人スタッフの心強い協力もバッチリ100食分のカレー作りが始まりました。肉カレーの味つけは、シャヒダさんがエプロンがけで奮闘され、牛肉を食べれないシャクティラニさんは、自分用の野菜カレーを作られました。会場には、8種類の香辛料とレシピを並べ、野の花も生けて皆様をお迎えすることができました。バングラデシュのお味、楽しんでいただけたでしょうか？お野菜は全て無農薬で、曾根さんが提供して下さったものです。

たくさんの方々のご協力で、無事終えることができました。心から感謝いたします。ありがとうございました。そして、今後どうぞよろしく願いいたします。

帰国報告会 アンケート結果



帰国報告会の会場でアンケートを行い、19名の方に、お答えいただきました。バングラデシュのカレーについて、ほとんどの方がとてもおいしかったというお答えでした。報告会自体や現地スタッフの報告・話については、

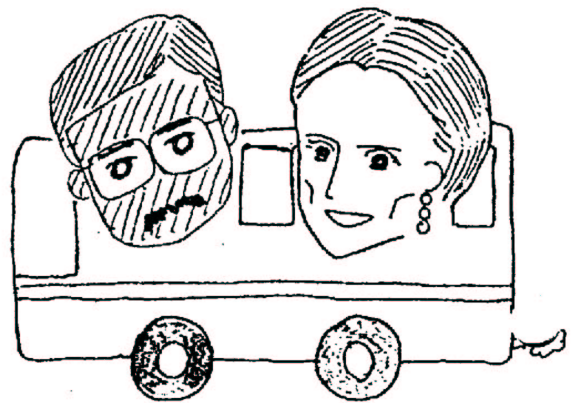
これもほとんどの方が、よかったという意見でしたが、現地スタッフの意見をもっと聞きたかった、もっと話をできる時間を作ってほしかったという声がありました。参加者が何を望んでいるのかよくわかる結果となりました。報告会について、会の活動について意見や感想を聞くことが出来たので、いくつか紹介します。

- ・今までテレビでしか見ることのなかった現地の現状に驚きました。本当に身近にこのような活動をされている方々がいると知り、関心を持ち、また自分にも何かができるのではないかと勇気づけられました。 (21歳 学生)
- ・素晴らしいものでした。継続する事が大切であると実感しました。(会社員 女性)
- ・サリーの着付けについて、男にも (41歳 公務員)
- ・1つ1つ問題をクリアされているようで、昨年も聞かせていただいたのですが、今年もいろいろ私なりに考えさせられています。応援します。(25歳 看護婦)
- ・たくさん学びがありました。問題の1つ1つを、関わる人達が共有化し前向きに話し合うという原点、また、教育の本当の目的など (39歳 看護婦)

カラムディ村現地スタッフの招聘事業が無事終わりました。

カシエムさんとシャクティラニさん ごくろうさま、お元気で

今年のカラムディ村現地スタッフ招聘事業は、現地NGO「ショングニ・ショングスタ」のリーダー=カシエムさんと、母子保健センターで働くシャクティラニ看護婦のお二人をお招きしました。10月7日に来日した彼等は、バングラデシュとは違って、少し涼しくなった秋の日本で、教育に医療・看護に一生懸命研修と交流に励みました。



まず来日初日には、歓迎会。その後、21日までの約2週間という短い期間でしたが、カシエムさんは、

小、中、高をはじめ学校関係を訪問し、子供たちや先生方と交流したり、意見交換を行いました。看護婦のシャクティラニさんは、高橋さんや宇治さん、岩切さん、丸木さんのお宅でホームステイしながら、八木病院、古野セツマリクリニック、井樋産婦人科病院、それにのさかクリニックなどで、研修を行いました。二人とも、どこに行っても人気者で、子供たちや患者さんたち、看護婦さんたちからいろいろな質問攻めに会ったり、励まされたり、……

18日には、お二人とラフマンさん、岩切さんの4人で市役所を表敬訪問しました。昨年につづいての訪問で、今年は特に現地での具体的な活動内容について、話し合いました。

日本を離れる前日の20日(日)には、バングラデシュと手をつなく会の会員と一緒に長崎へバス旅行。バスの中では、海外協力隊でバングラデシュで働いていた堀さんのベンガル語講座があったり、またバングラデシュの歌や日本の歌が飛び交ったりしました。長崎では、中華料理(豚肉、牛肉抜き)の後、原爆資料館や、如己堂、山里小学校、浦上天主堂などを訪れました。30人が参加した楽しい旅でした。

その夜の、送別会にもたくさんの会員が参加して、別れを惜しみました。シャクティラニは、「日本で医師、看護婦、患者の間の人間関係に学ぶものが多かった。」と感想を述べました。カシエムさんは、自分たちの研修の姿を「映像にとって現地にも伝えたかった」と言っていました。

今年の現地スタッフ招聘事業は、2週間という短い期間でしたが、昨年に比べると、目的意識をはっきりして臨んだこと、計画的にことを運んだこと、等の点を成果として上げることができると思います。また、最後の話し合いで、ショングニとビレッジドクターとの間の問題に関しても話し合い、日本側の提案をきちんと出すこともできました。反面、話し合いの時間が十分に持てなかったり、より多くの会員と接する機会が足りなかったのではないかと反省させられました。ご協力いただいた方々、会員の皆さん、本当にありがとうございました。

(二ノ坂 保喜)

☆☆☆☆カシエムさんとシャクティラニさんは10月21日無事帰国されました。日本での研修・交流を終えた、お二人の感想です。☆☆☆☆

日本の教育を見て～子供たちの恵まれた環境～

アブル・カシエム

来日以来、福岡の幼稚園や保育園から大学までいろいろな教育機関や教育内容を見る機会がありました。中でも、一番印象に残ったのは小学校の教育でした。内野小学校、教育大付属小学校や、一貴山小学校で受けた歓迎、私たちに対する子供達の自然のままの接し方、子供達の日常生活の中に参加することなどは本当に両国の文化や言語の障害を越えて、非常に親密になることができました。

また、それぞれの学校に行き行って気づいたことは、教師・生徒の相互関係です。わが国（バングラ）では、先生は権力を持ち、生徒をコントロールすることが彼等の役割のようです。しかし日本の生徒や先生たちは非常に親しく、気軽な関係をもっています。先生は生徒に命令するだけではなく、自分の行動で示して子供達に教えることが本当の意味の教育ではないかと思えます。

学校の内外は非常にきれいで、それを保つのはみなさんの責任だということを目撃しており、小さいころからそれを身に付けているようです。

一貴山小学校で行われた研究授業では、学校の問題や社会の問題に対する子供達の認識、議論への積極的な参加、またそれを引き出す先生たちの働きかけなどすばらしいものでした。私は勉学に必要な条件として教師や生徒の相互関係、学校の環境が最も重要なものだと信じています。帰国し、日本で見たことや学んだことを少しでも実現できればいいなと思えます。

医療研修を終えて～医師・看護婦・患者の關係に学びたい～

シヨクティラニー・シャハ

日本に来る前、日本の医療現場のことを想像したことがあります。日本に来てみたら本当にその通りでした。どこの病院でも機械が多く、そのほとんどは私が見たこともないもので、もちろん扱ったこともありませんでした。私たちの国では急にこのような機械を導入することもできないし、使うこともないでしょう。だから機械に関する勉強はどれくらいできたか、2週間の研修を終えて今疑問に思っているところです。

しかし私にとって一番実りのあったものは、医療現場で医師・看護婦・患者、の關係を観察できたことでした。機械で検査し、薬で病気を治していると思いません。そこには医師・看護婦・患者の關係が重要な役割を果たしていると思えました。また病院の清潔さや、当たり前のことですが、仕事に対する全員の責任感、お互いの連絡・役割分担などが患者の病気を治すのに役立っていると思えました。帰国して、日本で学んだことを実現しようと思えます。2週間お世話になりました。ありがとうございました。

新入会員紹介

(敬称略)

折田 瑠子、賀戸 一郎、内村 ハツ、長野 仔子、大黒 剛、
大黒 路代、徳永 隆子、緒方 みどり、村井 芳子

招聘事業会計報告

1996. 10. 31現在

◎収入の部-----346,000円

招聘事業助成金	250,000
カレー代	30,300
サリー着付写真代	600
歓迎会費	8,500
送別会費	9,000
送別会カンパ	2,000
報告会(10月21日)物品販売	45,600
絵ハガキ@400×4	民芸品 13,700
紅茶 @300×23	レモン販売 3,300
報告書	募金 2,000
今年度@300×31	(おつり繰分)
昨年度@200×3	
テレホンカード @800×8	

◎支出の部-----413,817円

旅費と滞在交通費	355,500
歓迎会経費	10,605
送別会経費	8,963
長崎行き経費	8,060
カレー作り経費	20,489
会場費 10/7,10/12,10/20	10,700

いろいろと御協力ありがとうございます

- ▼郵便振込みの方には領収書を省略させていただいておりますが、御入り用の方は事務局までお知らせ下さい。
- ▼会員としては入会していない、という方には大変ご迷惑をおかけしております。不行き届きの点、心よりお詫び申し上げます。この点についてまだ(未入会を)申し出ておられない方はどうぞご遠慮なくお申し出下さい。
- ▼バン格拉デシュの子供達を思って、コーヒー1杯分でも募金に協力いただきますように振替用紙を同封させていただいております。ボーナスも出る頃となって参りますので宜しくお願いしますネ！！

会計より

●お知らせコーナー●

11月17日「教室とNGO 架け橋交流会」

「バングラデシュと手をつなぐ会」では、一貫山（いきさん）小学校をはじめいくつかの学校において、私達の活動を紹介しながら、様々な交流を行ってきました。また内野小学校では子ども達の「国際交流クラブ」があります。このように学校現場と私達のようなNGOとの交流が少しずつ始まってきました。しかし、お付き合いをより深めるためには、多くの問題がまだまだあることが分かってきました。そこで11月のNGO福岡ネットワーク定例会は、学校の先生とNGO関係者とが自由な意見交換の場にする予定です。開発教育にご関心をお持ちの方ぜひご参加下さい。どなたでも参加できます。

と き：11月17日（日）午後2時～5時

場 所：アクロス3階「福岡県国際交流センター」交流室A（博多東急ホテル前）
福岡市中央区天神1-1-1

参加費：無料 ☎お問い合わせ「いのさかクリニック」☎092-872-1136

12月1日「ADB（アジア開発銀行）ちゃ、なんね？」

アジア開発銀行（ADB）はアジア太平洋地域における開発プロジェクトに融資を行う多国間開発銀行です。本部はフィリピン・マニラにあり、バングラデシュとも関係が深い銀行です。これまでADBのいくつかのプロジェクトにおいて、住民の強制移住や地域の環境破壊が問題となり1990年ころよりNGOがADBの政策に対して提言活動を行ってきています。

来年5月にADBの総会が福岡市で開かれます。この福岡総会に市民の立場から参加することを目的として先日「ADB総会福岡NGOフォーラム」が発足しました。このフォーラム主催により、96年5月のマニラ総会への参加報告やADBのプロジェクトについて様々な角度から検証する講演会を開きます。当日は東京や関西のNGOからの報告もあります。資本の流通から見た「開発」にご興味のある方をはじめ皆さんご参加下さい。

と き：12月1日（日）午後2時～4時30分

場 所：ももちパレス3階小ホール（地下鉄藤崎駅隣）
福岡市早良区百道2-3-15

参加費：500円 ☎お問い合わせ 今村 和彦☎092-921-5845

お知らせとお願いのコーナー

11月・12月・(1月)の行事予定

作業、運営委員会、忘年会などがあります。いずれも参加は自由です。
 いろんな作業もあります。どうぞ協力をお願いします。

月 日	時刻・時間	内 容	場 所
11月 6日(水)	19:00~	ミロン作業(おりっこ)	にのさかクリニック
11月 7日(木)	13:00~	ミロン発送準備	事務所(西新)
11月21日(木)	19:00~	運営委員会	事務所(西新)
11月23日(土)	13:00~	チャリティーバザー	西新商店街
12月21日(土)	18:00~	忘 年 会	未定
12月19日(木)	19:00~	運営委員会	事務所(西新)
12月21日(土)		加藤 村ハスタディーツアー出発	バングラデシュ
1月16日(木)	13:00~	ミロン発送準備	事務所(西新)

- 1996年現地訪問報告書「ともに 明日を見つめよう」および「記録ビデオ」ができました!

1冊300円です。本年度の活動について具体的な内容が掲載されています。
 なお活動内容をビデオにも収録していますので、興味のある方は是非ご覧ください。貸し出しは無料です。

- 11月23日(土)恒例のチャリティーバザーを西新商店街住友生命まえにて行います。

不要品などがございましたら(何でも結構ですが古着はあまり歓迎しません)事務所またはにのさかクリニックまでお電話下さい。取りに伺います。もちろん持って来ていただければなお結構です。

連絡先は 下記事務所 または
 にのさかクリニック 092-872-1136 まで

バングラデシュと手をつなく会
 814 福岡市早良区西新5-4-20
 TEL&FAX 092-822-5795
 代表 大木 松子
 郵便振込 01720-2-10442
 加入者名 バングラデシュと手をつなく会

